

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2002-276388(P2002-276388A)

【公開日】平成14年9月25日(2002.9.25)

【出願番号】特願2002-6836(P2002-6836)

【国際特許分類第7版】

F 02 C 7/00

F 01 D 25/00

G 01 B 3/34

【F I】

F 02 C 7/00 A

F 01 D 25/00 V

G 01 B 3/34

【手続補正書】

【提出日】平成16年7月27日(2004.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

タービンの翼形部の後縁厚さを測定するための治具(10)であって、  
前端部(14)、前端縁(22)、及び側縁(20)を有するほぼ平板状の部材(12)  
と、

前記前端縁に近接して前記側縁(20)沿って配置された所定の幅を有するスロット(26)と、

前記翼形部の前記後縁(30)に係合するようになっている前記所定の幅のスロットを  
備える開口(18)と、

を含むことを特徴とする治具(10)。

【請求項2】

タービンの翼形部の後縁厚さを測定するための装置であって、  
複数の治具を含んでおり、各治具は、  
本体部分(16)及び前端部(14)と、  
前記前端部(14)の前端縁(22)に近接して側縁(20)に沿って配置され、前記  
翼形部の前記後縁(30)に係合するようになっている所定の幅(C)のスロット(26)  
を備える開口と、を有し、

前記治具の各々は異なる所定のスロット幅を有する、  
ことを特徴とする装置。

【請求項3】

タービンの翼形部の後縁厚さを測定するための方法であって、  
(a)所定の幅(C)を有するスロット(26)を備え、前記翼形部の後縁(30)を  
受け入れるようになっている開口(18)を有する治具(10)を準備する段階と、  
(b)前記開口中に前記翼形部の前記後縁を受け入れるように前記治具を位置合わせす  
る段階と、  
(c)前記後縁(30)と前記スロット幅(C)とが一致しているかどうかを判断する  
段階と、

(d) 一致しない場合、異なる所定のスロット幅を有する治具を用いて、一致が見出されるまで、前記(a)から(c)までの段階を繰り返す段階と、

(e) 前記所定のスロット幅により同一と確認されたとき、前記治具の寸法を前記翼形部の実際の後縁厚さとして記録する段階と、  
を含むことを特徴とする方法。

【請求項4】

時間の経過による前記翼形部の後縁厚さのデータを分析することにより、空気流の後縁閉塞による前記タービンの性能低下を評価する段階をさらに含むことを特徴とする、請求項3に記載の方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

本出願の出願人に付与された、特許文献1は、座標測定器プローブ中央データにより翼形部特性を判定するための方法及びシステムを開示している。CMMは翼形部に沿って外部座標を測定し、その座標値をコンピュータに送り、翼形部に沿う複数のセクションに沿う複数のプローブ中央点を分類し配列する。

【特許文献1】米国特許第5,521,847号公報

【特許文献2】特開昭61-226605号公報